

千葉市都市緑花懇談会の第1次提言(骨子)

提言：魅力ある公園にするための管理・運営

キーワード

千葉市らしさ

安全安心

健康

協働

資源循環

1 背景と役割

(1) 公園を取り巻く背景

- ① 少子高齢化など社会状況の変化
- ② 市民ニーズの多様化
- ③ 公園に対する市民の魅力感の希薄化
- ④ 協働型社会の到来
- ⑤ 災害や犯罪などへの関心の高まり
- ⑥ 維持管理費の削減など厳しい財政状況

(2) 公園の役割(必要性)

- ① 大規模な公園(都市基幹公園)
 - ・ 千葉市らしさ
 - ・ レクリエーションの場
 - ・ 余暇活動や運動の場
 - ・ 文化、観光、自然環境の保全
 - ・ 災害時の避難場所
- ② 身近な公園(住区基幹公園)
 - ・ コミュニケーションの場
 - ・ 子どもたちの遊び場
 - ・ 高齢者の憩いの場
 - ・ 街の快適性
 - ・ 環境の緩和・防災

2 現状と課題

(1) 現 状

- ① 子どもたちが外で遊ぶ姿が少なくなった
- ② お年寄りが憩える公園になっていない
- ③ 行政主導の公園管理になっている
- ④ 公園が老朽化している
- ⑤ 厳しい財政状況にある

(2) 課 題

- ① 量から質への価値観の変化、ニーズの多様化への対応
- ② 市民の行政参画意識に対応した協働のしくみづくり
- ③ ボランティア団体との連携
- ④ 公園自体の劣化などへ対応した公園再生
- ⑤ 市民への情報提供
- ⑥ 行政主体から市民主体に向けた職員の意識改革
- ⑦ 犯罪防止など安全安心に向けた取り組み
- ⑧ 厳しい財政状況の中での管理運営の新たな仕組みづくり

3 目標の公園像

(1) 基本理念

- ① 千葉市らしさの確立
- ② 安全安心の確保
- ③ 健康で快適なライフスタイルへの寄与
- ④ 参加と協働
- ⑤ 資源循環型の公園管理

(2) 施策の基本的方向性

- ① 魅力的な公園にするための管理運営
- ② 安全安心に向けた施策の整備
- ③ 個性豊かな既存公園の魅力を発信
- ④ 市民・企業がまちづくりに参加できる機会の充実
- ⑤ 良好な自然環境の保全、次世代への継承

4 魅力ある公園に向けた千葉市版パークマネジメントプランの策定

5つの具体的施策

- (1) 魅力的な公園にするための管理運営計画の策定
- (2) 安全安心な公園の実現
- (3) 既存ストックの最大限の活用とPR
- (4) 厳しい財政状況の中での新たな仕組みづくり
- (5) 協働の仕組みと組織づくり

最終目標

「だれもが楽しめる魅力ある公園」の実現を目指す

(緑と水辺の基本計画に位置づける)

第1次提言の概要(魅力ある公園について)

目標の公園像

1 千葉市らし
さの確立

2 安全安心の
確保

3 健康で快適

4 参加と協働

5 資源循環型
の公園管理

千葉市版パークマネジメントプランの策定に向けた5つの具体的施策

1 魅力的な公園にするための 管理運営計画の策定

「公園を楽しく魅力的にするための
公園ごとの管理運営計画の策定」

- (1) 管理運営計画の概要
定めるべき項目
 - 1) 基本理念
 - 2) 取組方針
 - (1)利用方針(2)維持管理方針
 - (3) 運営管理方針
 - 3) 推進するための具体的方策
- (2) 個々の公園の魅力や特色を活
かした管理運営計画を策定する。
 - ①大規模な公園
総合公園(5箇所) 運動公園(1)
 - ②身近な公園
特性を活かした地域ごとの
方針を定める
地区公園(9) 近隣公園(62)
街区公園(777)
 - ③特殊公園
風致公園(4) 歴史公園(4)
動植物公園(2)
(平成20年3月31日現在)
- (3) 資源循環型の公園管理
公園内で出た剪定枝や雑草
ごみなどを堆肥やチップ化等
により循環させる

2 安全安心な公園の実現

「いつでも安全安心な公園の実現」

- (1) 管理マニュアルの策定
 - ・公園遊具の点検マニュアル
 - ・窓口対応マニュアル
 - ・将来の姿を見据えた公園樹
街路樹の管理マニュアル
 - ・占用、利用、使用などの
公園における規制等の基本
的な考え方 など
- (2) 老朽化した公園施設の再
整備、更新
 - ・公園リフレッシュ計画
(30年以上経過した公園や
遊具等の計画的な更新)
- (3) 犯罪防止のための樹木の
剪定等(見通しの確保)
- (4) 災害時の対応(避難場所等)
- (5) 関係部局との連携
- (6) 健康で快適なライフスタイル
への寄与

3 既存ストックの最大限の 活用とPR

「既存の特色ある公園をアピール」

- (1) 四季折々の公園の歳時記を
策定してPR
 - ・四季を通じた公園のイベント
情報や見所を紹介する。
(例)
さくらの名所百選(泉自然公園)
東京湾最奥部の海水浴場
(稲毛海浜公園)
都市公園百選(昭和の森)
動物とふれあい(動物公園) など
- (2) ホームページの充実
 - ・イベント情報や見所、最新
情報などを紹介する。
- (3) 既存公園の魅力を活かす
方法の検討
 - ・既存公園の特色を活かし
た季節ごとのイベントなど
を実施する
(例)
カタクリ観察会(泉・昭和の森)
ホタル観察会(泉谷・昭和の森)
オオガハス (千葉公園) など

4 厳しい財政状況の中での 新たな仕組みづくり

「厳しい財政状況の中での新たな
仕組み」

- (1) 維持管理費の検証と手法
の検討
 - ・都市公園数が毎年増加す
る中、維持管理費は平成4
年をピークに半減しており、
企業やボランティアとの連
携など管理手法の検討が
急務である。
- (2) 公園における規制の見直し
 - ・公園においては、占用、
利用、使用方法など厳しい
制約がある
 - ・市民ニーズに対応した規
制の見直しなどにより、市
民にも、財政的にもよりよ
い方策を実施する。
- (3) 公園管理費を自ら生み出
す手法の検討
 - ・メモリアルベンチや遊具
など市民からの寄付など
を公園管理に活かす手法
 - ・公園内での催し等を活用
した維持管理費の確保など

5 協働の仕組みと組織づくり

「行政主導から市民中心の協働へ
の仕組みづくり」

- (1) 運営協議会の設立
(モデル地区)
 - ・市民中心の運営協議会が
公園の管理運営を行う。
 - ・1日プレーパークなど様々
なイベントや安全パトロー
ル隊、維持管理に関する事
項も話し合いで決めていく。
- (2) ボランティア制度の確立
市民の意向によるボランティア
制度の確立
 - ・既存制度の見直しによる
新たな清掃協力団体
 - ・企業や個人とも連携を図
るアダプト(里親)制度の設
立
 - ・運営協議会 など
- (3) 講習会を活用した管理運
営
 - ・花や剪定などの植物管理
からベンチや園路整備など
- (4) 市民の人材育成
- (5) 行政職員の意識改革
- (6) 顕彰制度の確立

「パークマネジメント協議会(仮称)」により、5つの具体的施策について検討する
(市民・市民団体・大学・行政等による)